

2021.7.8 (木)
第2回例会
(通算3629回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



※仕事よう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイRC)

月間テーマ

本日のプログラム 「クラブアッセンブリー」(担当:理事会)

次週例会 講師例会「鉄道ファンからみたひがし北海道の魅力」(担当:プログラム委員会)

- ロータリーソング:「四つのテスト」
- ソングリーダー:水口 喜文君
- 会員数 96名
- ビジター なし
- ゲスト なし

会長の時間

杉村 莊平会長



お食事の方は、そのままお続けください。

皆さん、こんにちは。先週は、皆さまのおかげで無事第1回目の例会を終えることが

できました。ありがとうございました。間違いなく時間が足りなくなるという進行で、しっかりと綿密に進行を考えたつもりですが、まさかの時間前終了になってしまいました。これもひとえに、スタート1回目の若葉マーク三役に免じてお許しをいただければと思っています。

このコロナで、われわれが学んだことは「いままで当たり前だと思っていたことが、実は大切なことだったと気付けたこと」だと思っています。今日も、こうして2回目の例会を当たり前のように開催させていただいておりますが、いつまた休会になるかも分かりません。こうやって私も挨拶をさせていただいておりますが、あと残り46回の例会を若葉マーク会長として、しっかりと大事に、そして少しでも有意義になるようにやって行かなければいけないと気持ちを新たにしております。また改めてよろしく願いいたします。という思いの下、本日は『クラブアッセンブリー』とさせていただきます。

当初、皆さんに書面を郵送して承認をいただく考えもありましたが、やはりこのような顔合わせの場でやるべきと考えまして、今日の開催とさせていただきます。その分、時間がタイトになっておりますが、何卒ご理解をいただければと思っております。

尚、本日、発表の場が得られないであろう小委員長の皆さまには、どうかお気を悪くされないようお願いを申し上げます。今月の29日にはゆっくりとご挨拶をしていただく時間を取らせていただくことを小委員長の皆さまにはお願い申し上げまして『アッセンブリー』をスタートしていきたいと思っております。

本日は、どうぞよろしく願いいたします。

幹事報告 市橋多佳丞幹事

皆さま、こんにちは。本年度、幹事を仰せつかりました市橋でございます。1年間、皆さまに分かりやすい幹事報告を行わせていただくように務めさせていただきまます。どうぞよろしく願い申し上げます。

本日の幹事報告です。新入会員の選考に当たりまして、職業分類の開設を1件行わせていただきました。この度、職業分類として『建設コンサルタント業』の開設をさせていただきます。こちらをホワイトボードに貼ってありますので後ほどご覧いただければと思っております。

また、7月のロータリーレートは111円となっておりますので、ご確認をお願いいたします。

■本日のプログラム■ クラブアッセンブリー

議長 杉村 莊平会長

ここからアッセンブリーとさせていただきます。例年と多少やり方が変わってきますが、どうぞよろしくお願いたします。



今更ではございますが、ご挨拶だけさせていただきます。本年度釧路ロータリークラブ会長を務めさせていただきます杉村でございます。どうぞよろしくお願いたします。

そして、副会長・浅川正紳君、幹事・市橋多佳丞君、副幹事・得地哉君、同じく副幹事・田内康章君でございます。この5名で1年間、運営をやらせていただければと思います。どうぞよろしくお願いたします。

本日のアッセンブリーの進め方です。基本的には例年と同じでございますが、先ほどお話をしたように大委員長から委員会の計画活動について一括での発表とさせていただきますことをお許しください。多少、時間がなくなって駆け足になるかと思いますが、それもどうぞご理解いただければと思っております。

それでは、アッセンブリーを始めさせていただきます。ここからは、着座にて失礼をさせていただきます。

それでは、進めさせていただきます。まず、会長方針の要約を読み上げさせていただきます。

会長方針の要約

釧路ロータリークラブは、これまで85年に亘り独自の歴史と伝統を築き上げ、規律と寛容を両立させた素晴らしいクラブに発展してきました。

ロータリーの本質が、例会に出席しメンバーと楽しく語り、学び合うことにより自身の心を豊かに成長させるという「親睦」と、その心をそれぞれの家庭や職場・地域に持ち帰って実践につなげていく「奉仕」であるとすれば、これからもわれわれは、ロータリーを楽しむことと豊かな地域を育むことがより強く連繫し、好循環していく活動を目指すべきだと考えています。

これらを踏まえ、今年度は、コロナ禍での再出発という思いも込めた『創立85周年』を節目とし、我がクラブの歴史を振り返ることにより、その存在意義を再確認し、このロータリークラブで活動できる喜びを分かち合い、その活動の輪を広げていく1年にしていきたいと考えております。

多少補足をさせていただきます。この釧路クラブが持

つ素晴らしい文化を「規律」と「寛容」という言葉で表してみました。このふたつを併せて「釧路クラブの品格」ということになるかもしれません。どちらにしても、85年に亘って積み重ねてきたこの釧路クラブの良さを、これからもしっかりと継承をしていかなくてはと考えています。

僕が思うロータリー活動の第一歩は、難しい議論ではなく、今日の例会の出席を迷っている時に、少し無理をしてでもみんなの顔を見に行こうと思えるか。要は、ロータリーを楽しめているかどうかだと思っております。またその一方で、ロータリーは地域の活力があってこそその活動だとも思います。そう考えるとわれわれは、ロータリーを楽しむ「親睦」と地域を育んでいく「奉仕」がより循環し、大きくなっていくような活動を目指していくべきだと思います。

これを踏まえ、今年度の釧路ロータリークラブのスローガンを『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』とさせていただきます。

自分ごととして、前向きに関わるという思いを込め「ロータリーを」ではなく、あえて「我がロータリーを」としてあります。今年1年、何とか自分も会長として、「我がロータリー」を楽しめればと思っております。続きまして、クラブ活動目標の説明をさせていただきます。

クラブ活動目標

1番、「入りて学び、出でて奉仕せよ」「心を求めて例会に至り、境地を得て例会を去る」などの言葉があるように、とにかくロータリーの原点は例会への出席だと思っております。委員会とも密に連繫をしながら「今日も例会へ来て良かった」と思えるプログラムを作りたいと思っています。

2番につきましては、ロータリー全般ではなく、あえて釧路クラブの歴史と絞らせていただきました。たどって行けば、どこかで自分たちにもつながるような釧路クラブの先人たちの足跡を学び、これからの活動の糧にしていきたいと思っております。

11月には、昼と夜の2回、85周年例会を開催し、パストガバナーやパスト会長などのベテランメンバーに少し砕けた昔話などをしていただき、釧路クラブの歴史を共有したいと思います。また85周年の節目に、天方年度から引き継がせていただいております浄財にて、記念の品を釧路市に寄贈させていただこうと考えております。

3番ですが、これは言うまでもなくクラブの基盤の強化と活性化には欠かせないものと考えております。もう既に、増強委員会の頑張りによりまして、早速、先日の理事会でも4名の新入会員の承認をいただき、幸先の良いスタートを切ったところですので、

ただ、いま僕が心配をしていることは、このコロナ禍

で、しばらく例会に来られていないメンバーの中に「ロータリーに行かなくても別に問題はないな」と思



い始めているような方が少なからずいるのではないかということです。これから増強をしっかりと行いますが、退会防止にも気を配りながら活動

をしていきたいと考えています。

退会防止策として、しばらく出席をされていないメンバーをリストアップし、その方と近い方やスポンサーから定期連絡や訪問をしてもらうようなことを委員会と一緒に考えていきたいと思っております。

4番、今年度は協研修委員長にクラブ研修リーダーとしての任務をお願いしております。研修委員会にご協力をいただき、あまりお堅いものではないセミナーを開催し、ロータリー活動をより理解し、楽しんでもらうきっかけにしたいと考えております。

5番、これもロータリーを楽しむきっかけとして他クラブの例会や雰囲気を知っていただき、今後の活動に活かしていこうというものです。

6番、これも何年か続いていることですが、『マイロータリー』の登録をぜひともお願いしたいと思っております。

7番と8番、これらの活動は例年どおりしっかりと支援・協力をさせていただきたいと思っております。

9番、この国内提携ですが、僕の年度で具体的に相手を決めようということではなくて、90周年に向けて議論をしていきたいと思っております。姉妹提携・友好提携などいろいろなやり方がありますが、あまり負担にならない中で、交流の中からいろいろなものを学んでいければと思っております。

まだまだコロナの状況を見ながらのクラブ運営が続きますが、今年度はコロナからどのようにロータリー活動を離陸させていけるか。少し大げさに言えば、ロータリー活動の存在意義が問われる大事な1年になると考えております。今年度のそう遠くない日に夜例会や情報集会、野遊会など通常に近いロータリー活動ができることを信じて、改めてロータリーの楽しさ、原点をみんなで考えていく1年にしたいと思っております。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

続きまして、クラブ概要及び会務方針につきまして、市橋幹事より説明をしていただきます。

クラブ概要及び会務方針 市橋多佳丞幹事

それでは、私からクラブ概要及び会務方針についてご説明をさせていただきます。

本日皆さまのテーブルに追加資料ということで、変更



になりました資料をお配りさせていただいております。クラブ概要及び会務方針のところが2ページ目・3ページ目で1枚となっております。

続きまして、例会予定の9ページ目、予算書の24ページ目・25ページ目・26ページ目とA3で計3枚、皆さま方にお配りさせていただいております。資料に不備がございましたら副幹事の方までお申し付けください。

それでは、クラブ概要の説明をさせていただきます。例年でありましたら6月に開催をさせていただいておりますクラブアッセンブリーで、7月1日現在を想定しての人数でやるのが通常ですけれども、本年、7月1日は既に過ぎております。昨年6月30日付けで打矢会員が退会をされて、いま現状の会員数96名、7月1日現在、となっておりますので、こちらに合わせて資料を変更させていただきました。2番、会員の年齢。3番、会員・クラブの在籍年数の分布等につきましては、ご一読をお願いいたします。

クラブの財政につきましては、例年と変わりはございません。ニコニコ献金の目標額も80万円、例年と同じとさせていただきます。

5番、理事会。6番、委員会活動につきましても例年と記載の方法は変わってございません。

7番、クラブ協議会ですけれども、第1回目を本日7月8日と設定をさせていただいております。第2回を9月30日、こちらガバナー公式訪問が設定されている日程ですので、皆さまのご出席をよろしくお願いいたします。第3回・第4回は、予定の日程となっておりますので併せてご確認をお願いいたします。

また8番、総会でございますが、本年度は12月2日に行う予定となっております。

9番・10番・11番につきましては、ご一読をお願いいたします。

12番の例会ですけれども、例会は禁煙とさせていただきます。また2の部分で、年末クリスマス家族会は12月9日、新年交礼会は1月6日、最終例会（キャンドルパーティー）は6月30日とさせていただきます。その他、新入会員歓迎会を上期・下期に各1回、開催させていただく予定となっております。

13番、その他ですけれども、いまほどご説明をいただきました会長のクラブ活動目標から抜粋し、準じて作成をさせていただいておりますので、併せてご確認をお願いいたします。

私からは以上でございます。

議長 杉村 莊平会長

続きまして、各委員会からお願いしたいと思ひます。よろしくお願ひします。

クラブ運営委員会 中島 徳政委員長

クラブ運営委員会、本年度の委員長をさせていただきます中島でございます。副委員長には高橋直人君にお願いをしております。



1年間、よろしくお願ひしたいと思ひます。会長も申し上げているとおり、大委員長が一括で説明とさせていただきますので、ウチの委員会は喋られる方がたくさんいらっしゃると思いますが、私の方から一括で説明をさせていただきます。

クラブ運営委員会には3委員会がございます。出席委員会・親睦活動委員会・プログラム委員会の3つです。

出席委員会では、本年度1回でも多く、楽しく出席をしていただきたいという部分と、会長から「ぜひ他クラブの例会に参加をするメイクアップの体験会をしてほしい」とご要望をいただいておりますので、そちらを活動の方針に入れさせていただいております。

親睦活動委員会はコロナ禍の中で、今まで夜間例会を担当という形でしたが、本年度は昼の例会にも親睦の部分で委員会に担当をしていただこうと考えております。

次が、プログラム委員会です。プログラム委員会は、会長方針に従いまして地域社会やクラブの理解を深めて、会員相互の理解も深めていくような形でプログラムを構成して行きたいと思ひます。プログラムや親睦の活動を通じて多くの方が例会に出席をしていただき、出席率向上を「正の循環」のように進んでいければと思ひます。

年間スケジュールが計画書に載っておりますので、そちらは皆さままでご一読いただければと思ひます。

クラブ運営委員会からは以上となります。

クラブ広報・会員組織委員会 村上 祐二委員長

クラブ広報・会員組織委員会の委員長を務めさせていただきます村上でございます。



私は何分経験がないものですから白幡副委員長のご指導ご鞭撻をいただきながら1年間活動をしてまいりたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

クラブ広報・会員組織委員会は3つの委員会で構成されております。要約をして私の方からご報告申し上げます。

まず、クラブ会報・雑誌委員会です。こちらは例年と変わらずの活動となると思ひますけれども、横田委員長は職業柄ミスのない完璧な仕事を求められている男でございます。そういったところが色濃く出る委員会活動になるかと思ひますのでよろしくお願ひいたします。

そして、会員増強・選考・職業分類委員会ですが、既にもう会員増強の方は皆様のご協力をいただいて進めているところでありますが、つくづく7月に入って感じることは、時には会員増強は力業で問答無用で入会をさせることも必要かと思っております。やはり私たち、私自身がこの釧路ロータリークラブの活動をどれほど楽しめているのか、どれだけこの例会に参加したいと思っているのか、またこの例会で培ったこと・知ったこと・学んだことを日頃の会社でどれだけ反映をさせているのかがきっと会員活動に当たって大事な部分になるのだろうと感じております。

いま私自身は、非常に楽しんでやっておりますのでそういった気持ちで会員拡大に臨みたいと思っております。

続きまして、クラブ研修委員会ですが、こちらは私が要約をするわけにはまいりませんので、協委員長、よろしくお願ひいたします。

クラブ研修委員会 脇 弘幸委員長



クラブ研修委員会委員長の脇でございます。決して「喋らせる」と言ったわけではございません。大委員長から「言うなら自分で話さない」ということですので、委員会活動についてお話をさせていただきます。

先ほど杉村会長がご説明をされました会長基本方針を踏まえまして、また「我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。」のスローガンの下、ロータリーの楽しさへつながる一助となるよう会員が語り、また学び合う機会を作っていきたいと考えております。そのためにも理事会や各委員会と連繋・協力を図りながらしっかりと活動を進めていきたいと思ひます。

活動目標につきましては、ここに記載のとおりですが、まだまだコロナ禍でなかなか先が見通せない中ですが、オリエンテーションからクラブ研修セミナーまで何とか開催できると信じて活動を進めていきたいと考えておりますので、皆様ご協力のほどをよろしくお願ひいたします。

大委員長、このような感じ でよろしいでしょうか。

奉仕プロジェクト委員会 小野寺 俊委員長

奉仕プロジェクト委員会を今年度仰せつかりました小野寺でございます。副委員長には白崎義章君になっていただきまして、土建屋コンビで1年間進めてまいりたいと思います。



奉仕プロジェクト委員会は、社会奉仕・職業奉仕・国際奉仕・青少年奉仕の4委員会構成をしております。詳細につきましては、クラブ活動計画書をご一読いただきたいと思いますので、今日のところは各委員会をかいつまんでご説明申し上げます。

はじめに社会奉仕委員会です。社会奉仕委員会の今年度の事業計画としては、先ほど杉村会長からお話がありました『創立85周年の記念事業』として釧路市への物品の寄贈を予定していますので、その窓口等々のお仕事をさせていただきたいと思っています。

続きまして、職業奉仕委員会です。例年、会員間の職場を見学する例会をやっておりますので、今年度につきましても1回、できれば下期にもう一度できれば良いと思っています。当面、1回目は秋口を予定しています。

国際奉仕委員会については、昨今、台北中央ロータリークラブとの姉妹提携の継続もございまして、当面はその窓口をやらせていただきたいと思いますと思っています。

最後、青少年奉仕委員会です。こちらは、例年どおりの内容となっておりますが、主な活動としては『全道中学親善硬式野球大会』の分区事業で、支援協力ということで8月1日に1日で開催をする予定です。ロータリーアクトクラブ・インターアクトクラブとの交流は例年どおりです。また『ライラセミナー』への参加も会員企業の中から若手社員の方を出していただいて数名を派遣させていただきたいと思っています。

4番目、活動計画書に『釧路ロータリーカップ北海道アイスホッケー大会』の開催と記載させていただいておりますけれども、アイスホッケー事務局との年度前の打ち合わせの中で、高校アイスホッケー大会の関係もありまして、例年行っておりました11月下旬、または12月上旬のロータリーカップの開催が非常に難しいということで、今年度は開催ができない状況になっています。締め切りの都合上、計画書には記載しておりますけれども、そのような事情になっていることをお詫び申し上げます。

私からは、以上です。

ロータリー財団・奨学推進委員会

栗林 延次副委員長

こんにちは。ロータリー財団・奨学推進委員会副委員長の栗林でございます。本来なら甲賀委員長が発表をするところですが、代わりまして代理を務めさせていただきます。



甲賀委員長は、この委員会の副委員長を故五明会員にお願いしていたと聞いております。残念ながらご逝去により、それも叶いませんでしたが、五明会員の志を受けてこれも代理でございますが、微力ながらロータリー財団・奨学推進委員会を支えていきますので、皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、甲賀委員長から預かった報告書を代読いたします。

代読

杉村年度において、ロータリー財団・奨学推進委員会大委員長を拝命した甲賀です。今回は、杉村年度の活動方針発表の場である『アッセンブリー』に出席できず大変申し訳なく思っております。

さて本年度、当委員会はロータリー財団寄付推進委員会、米山記念奨学会委員会、嵯峨記念育英会委員会の3委員会構成されており、それぞれ濱谷さん、川本さん、清水輝彦さんに委員長をお願いしてまいりました。

クラブ活動計画書には、皆さんの思いが込められており、特に米山記念奨学会委員会の川本委員長は活動計画書で初めてだと思いますが、米山シンボルマークを掲載しその意味合いを示してくれました。本当にありがたいです。

当クラブに由来する公益財団法人釧路ロータリー嵯峨記念育英会については、理事長が吉田潤司さんから石田さんにバトンタッチされました。石田理事長の今後の方針を参考にさせていただくためにも杉村会長には、育英会をテーマにした炉辺会合をお願いしているところであります。嵯峨記念育英会委員会・清水委員長と協力して推し進めてまいりたいと思っています。

また、ロータリー財団寄付推進委員会についてはSDGsにより変化していると聞いております。濱谷委員長には、最新の財団の説明などを企画していただき、会員の皆さまに正しい理解をしていただきたいと思います。

杉村会長の基本方針の下「我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。」のスローガンに則りこの委員会が活性できることを祈念しております。

以上でございます。

部 龍珍 S A A

S A A の部でございます。副 S A A は後藤公貴君でございます。よろしく願いたいと思います。当クラブ今年度創立 85 周年を迎える歴史と伝統あるクラブでございますので、例会も品位と秩序を保つよう皆さまのご協力を心から願いたいと思います。



3つ掲げておりますが、特に2番目、外部からのご来賓、またご講演者の講話時には私語を慎むよう皆さまのご協力をお願いしたいと思います。3つ目ですが、年間数回、これは夜間例会を考えております。夜間例会の場合は座席の工夫をして、先輩・後輩のロータリアンが多く交流ができる場になるよう親睦委員会と協力をしながら取り組んでまいりたいと思いますので皆さまの協力をお願いいたします。

以上でございます。

議長 杉村 莊平会長

ありがとうございます。続きまして、市橋幹事に戻ります。よろしくお願いいたします。

収支予算案説明 市橋多佳丞幹事

私から 2021-2022 年度の収支予算案の説明をさせていただきます。予算案の内容に入る前にニコニコ献金についてご説明をさせていただきます。ここ数年の検討課題として、ニコニコ献金の収支予算書への予算繰り入れにつきまして、例年は収支予算書の中に「当年度の必達目標」という目標額が記載をされておりました。このことにつきまして、目標額に達しない場合も想定され、その差異は収入が減額となってしまい、単年度の赤字を起こしかねないという状況でした。そういった状況を踏まえて、本年は一昨年の方針に繰り越していただきました特別対策基金より天方会長年度のニコニコ献金 90 万 7,000 円が決算をされており、そちらを今年度の雑収入として繰り入れをさせていただきたいと考えております。

そして、先ほどクラブ概況で申し上げました本年度のニコニコの目標額 80 万円は、翌々年度 2023-2024 年度へ繰り越したいと考えております。この年度のずれですけれども、当クラブの決算額が翌期の 10 月頃に確定する状況がございます。本来であれば、クラブアッセンブリーにて皆さまにご説明をするタイミングと決算のタイミングが合わない状況がご

ざいまして、決算後の確定した金額を引き継げるのは翌々年度になることをご理解いただきまして、各年度に亘って引き継いでいく予定でおります。

こちらにつきましては、天方パスト会長、本年度の杉村会長、そして滝越会長エレクト、昨年度の舟木パスト会長・荒井幹事ともご相談の上、決定をさせていただいたことを皆さまにご理解をいただければと思っております。

そういった状況で、収支予算案の収入の部の最下段、当該年度会員の皆さまから拠出していただくニコニコ献金につきましては、2023-2024 年度へのニコニコ献金として繰り越すものとするという一文を記載させていただきます。

それでは、収支予算案の詳細の説明をさせていただきます。

R I 人頭分担金です。本年度は上期 35 ドル + 1 ドル、下期 35 ドルとなっております。先ほど皆さまにご説明をさせていただきましたロータリーレートが 7 月現在 1 ドル 111 円です。それに合わせた計算式となっております。

地区の方です。予算が記載されていない欄が上から 2 段目・3 段目・4 段目になります。リソースとサポート事業、職業研修チーム (V T T)、国際青少年交換事業、は予算が記載されておりません。こちらは 2500 地区の方より「昨年度はこちらに関する事業が行われなかったことがあり、こちらの金額は昨年度の予算を流用させていただき、よって本年度は会員の皆さま方から徴収することはない」という通知が来ておりますので、記載をしております。本来であれば削除しても良い項目かもしれませんが、次年度以降は復活することが想定されますので、あえて名称の方は記載させていただいております。

続きまして、6 行目、地区大会登録料です。こちらの方は、本年第 7 分区より漆崎ガバナーが輩出されております。また会長・幹事会におきまして「第 7 分区のクラブの皆さま方には全員登録をぜひとも願いたい」という依頼も来ております。そういった状況を踏まえ、現在 12,000 円で設定をしている大会登録料は 96 名の全員登録をさせていただきたいと思っております。

その下、文献・分区につきましては、例年と大きく変わりませんので割愛させていただきます。

続きまして、クラブの方では、上期の会費・各種祝い品・景品・年末家族会 (本人の部分) の数字が 95 となっております。こちらは昨年末に伊藤邦彦会員から休会届けが提出されております。休会の単位は半期単位となっております。96 名のところですが本人負担の会費は請求しない取り決めになっておりますので、こちらだけ 95 名の計算となっております。

続きまして、特別の部分です。他ロータリークラブ

周年登録料ですが、当クラブの80周年の時に登録いただきました他クラブの皆さま方の登録状況を鑑みて、こちらの金額に設定をさせていただいております。

続きまして、支出の部に移らせていただきます。先ほどのR Iの人頭分担金につきましては、先ほどのロータリーレートによって算出をしております。基本的に皆さまからいただいた金額をそのまま拠出する形になっております。地区も同じ金額となっておりますので、併せてご確認をお願いいたします。

文献費につきましても例年とほぼほぼ変わりませんが、ガバナー月信は例年どおり35冊となっておりますので、そちらを合わせていただいております。

分区・研修費・会議費・渉外費につきましては、前年とほぼほぼ変わらない金額で設定をさせていただいております。

また、例会費ですが、4行目です。釧路ロータリークラブ創立85周年例会と本年ならではの項目として設けさせていただきました。杉村会長からご説明がありましたが、11月に『創立85周年の例会』を行う予定となっております、そちらに使わせていただく予算として計上をさせていただいております。新入会員歓迎会、並びにキャンドルパーティー、年末家族会につきましては、例年と同じ金額となっておりますのでご確認をお願いいたします。

続きまして管理費ですが、事務局の青島さんと打ち合わせをさせていただきまして「例年どおりの金額で問題ない」というお話をいただいておりますので、例年どおりの金額を記載させていただいております。

続きまして、委員会費ですが、特記事項としてクラブ研修委員会、先ほどありましたように情報集会を今年度できれば3回行いたいと考えている都合上、例年より多少増額をさせていただいておりますのでご確認いただければと思います。その他、委員会につきましては、ほぼほぼ例年どおりの金額となっております。支出の部の特別に関しましては、基本的に収入の部からの右から左となっておりますので、ご確認をお願いいたします。また予備費の方も多少設けさせていただいております。

上期の支出合計ですけれども1,488万4,281円、下期1,110万7,895円、合計として、通期で2,599万2,176円の予算にて行わせていただきたいと思いますと考えております。

伴いまして、皆さまに会費の請求を今後させていただく予定となっておりますけれども、現状、上期の請求額ですが13万9,986円、下期は11万6,870円、合計25万6,856円の請求とさせていただく予定となっております。こちらロータリーレートによって多少の前後があらうかと思っておりますので、ご了承いただければと思っております。

本クラブアッセンブリー終了後、早急に皆さまに請求

書を郵送させていただく予定となっております。ぜひ会のスムーズな運営のために早急なお振り込みをご対応いただければと思っております。

以上でございます。よろしく願いいたします。

議長 杉村 莊平会長

発表をさせていただいた皆さん、本当にありがとうございます。話合いに多少駆け足で、聞き取りづらいところがあったかと思いますが、発表は以上でございます。

質疑応答

議長 杉村 莊平会長

続きまして、質疑応答の時間に移りたいと思います。ご意見・ご質問がある方、挙手の上お願いしたいと思います。

奇跡的にオンタイムで進んでおりますので、まだ多少はお時間がありますので遠慮をなさらずにご意見・ご質問があればどうぞよろしく願いいたします。それでは、何もなければ心配になったりしますが、このような形で進めさせていただきたいと思

わがままを言いまして、この時間、このような設定でアッセンブリーをさせていただいたことを本当に感謝申し上げます。ありがとうございます。